



Nano-IR・TERSの最前線に触れる一日！



令和7年度 第1回 合成横断技術領域ワークショップ

先端分析技術である「局所分光法」—原子間力顕微鏡（AFM）と分光を融合したこの技術は、今まさに材料科学・生命科学・半導体分野に革新をもたらしつつあります。

本ワークショップでは、**ナノスケールでの分光技術に関する最新の研究成果と開発動向**を、**トップ研究者と最前線の企業技術者**よりご紹介いただきます。

Nano-IRやTERS（探針増強ラマン分光）に関心をお持ちの方、あるいは今後の研究・装置開発にヒントを得たい方など、どなたでもご参加いただけます。

開催概要

- ・日 時：令和7年7月17日（木）13:30～18:30
- ・会 場：電気通信大学（対面・オンラインのハイブリッド開催）
- ・参加対象：制限なし（どなたでもご参加いただけます）
- ・参加申し込み：<https://forms.gle/J1DzwEvcXBAiX98FA>
- ・定員：現地参加60名、オンライン参加：なし



申し込みQRコード

プログラム（敬称略）

13:30～13:35 開会挨拶

河合 壮（ARIM合成横断領域 代表、奈良先端科学技術大学院大学 教授）

13:35～14:25

「探針増強近接場分光の最前線：単一原子・単一分子・ナノマテリアルの精密分光」

熊谷 崇（分子科学研究所 准教授）

14:25～15:10

「ナノの世界を化学する：ナノ分解能の新しい赤外分光技術 Photothermal AFM-IR」

横川 雅俊（ブルカー・ジャパン株式会社 ナノ表面計測事業部）

15:10～15:20 休憩

15:20～16:10

「ナノカーボン材料のAFM-TERS評価」

吉村 雅満（豊田工業大学 教授）

16:10～16:25

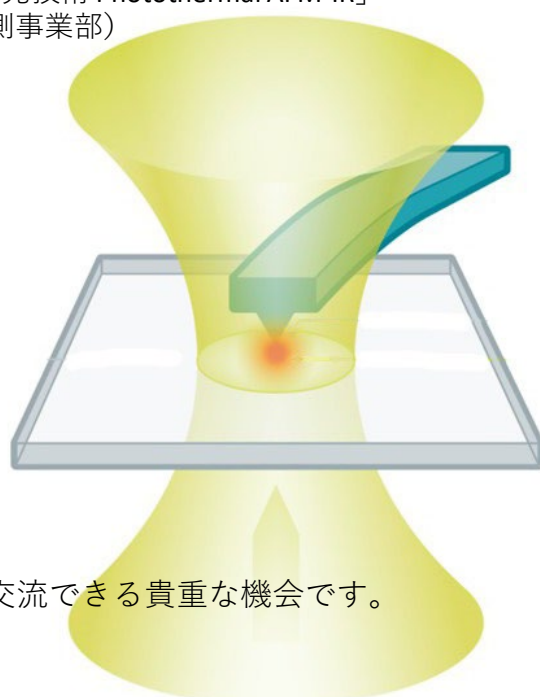
「電通大におけるARIM装置の紹介」

平野 誉（電気通信大学 教授）

閉会後のプログラム（希望者のみ）

16:30～17:15 電気通信大学 施設見学

17:30～18:30 情報交換会（対面）



技術の“今”を体感し、第一線の研究者と直接交流できる貴重な機会です。
皆様のご参加を心よりお待ちしております。